

選書ツアーに参加して

人文学部人間文化学科 3年 窪井 しおり

皆さんは、選書ツアーなるものをご存じですか。このツアーは、『学生が書店に行って図書館に入りたい本を実際に見て選ぶ』というものです。全国の大学図書館で多く行われており、小白川図書館では校友会より予算の支援をいただき今年度で4年目となります。

今回の選書ツアーは、8月4日（金）に仙台駅近くの丸善仙台アエル店で行われ、各学部から1名ずつ参加し計7名で行われました。1学部55,000円程度で、①自分の趣味にこだわらず図書館に必要で他の学生や1年生に薦めたいものを選ぶこと、②単行本を中心に選ぶこと、③既に小白川図書館に所蔵されている本を避けツアー参加者同士でも重複を避けること、以上が選書の基準です。

私は、歴史を専攻しているのですが、はじめに普段図書館を利用して資料数の乏しい歴史関連の本に目をつけました。その中で、特に一次資料や図版が掲載されており、度々講義や課題で取り上げられている災害関連のものや個人では値段が高くて手の届かない事典類を選びました。歴史関連のもの

だけでなく、花のシンボルや氏名の由来、世界の怪物・神獣・妖精・妖怪に関する、1年生でも興味を持ち気軽に手に取ることのできるような本も選びました。また、実用を兼ねて、実際に読んでみて文体が平易で内容が理解しやすかったことから日本国憲法の解説書や、他キャンパスに所蔵されていて小白川図書館には所蔵されていなかった地方公務員試験の過去問集なども候補に入れました。文系では特に公務員志望の方が多く、試験が近くなると公務員関連の本の貸し出しが増えるので、層を

厚くしたいと考えたためです。その他、話題になっている若手作家の小説などを購入額に収まる程度に、1年生だけでなく上級生向けの本も選び、偏りをなくすよう心掛けながら選書しました。

今回の選書ツアーで学生達が選んだ本は、小白川図書館2階の「校友会図書コーナー」に展示されています。もちろん貸し出しも可能です。学年や学内外の方を問わず、沢山の方に楽しんでいただけるコーナーになっていますので、お気軽に立ち寄ってみてください。学生による手作りの紹介文も合わせて見ていただけると幸いです。

